

# 集まれ！都北の理科好き！ 第1回都北科学発表交流会

平成31年1月26日(土)  
14:00~16:00(13:30開場)  
南九州大学都城キャンパス  
(2号館2102教室)  
参加費無料・当日参加も歓迎

児童生徒及び保護者の皆さん  
そして、理科を教えている先生方  
小中学生の優れた実践発表を聞いて、  
来年度の自由研究や科学を探究する  
ヒントにしませんか。

## プレゼン発表

14:00-16:00

- ①「アオスジアゲハの観察(4年目)」  
都城市立祝吉小学校5年 東 浩史 さん
- ②「はい水で、植物は発芽するのか、成長するのか？」  
~かん境へのえいきょうにせまる!!~  
都城市立木之川内小学校5年 宮元 七惺 さん
- ③「サツマイモは本当に乾燥に強いのか？」  
都城泉ヶ丘高等学校附属中学校2年 小林 那緒 さん
- ④「植物色素と紫外線の関係の研究」  
~植物は紫外線からどのように身を守っているのだろうか~  
都城泉ヶ丘高等学校附属中学校3年 友安 秀一 さん

昨年11月のサイエンス  
コンクール・プレゼン  
テーション県大会に出  
場した4人です!



## パネルディスカッション

「学校で科学を学ぶことの意義」 15:00-16:00

○パネラー

秋山 繁治 氏(南九州大学教養・教職センター教授)

木野田 毅 氏(都城市市立姫城中学校校長)

黒木 和樹 氏(宮崎北高等学校指導教諭)

細山田 祥太 氏(南九州大卒、現宮崎大学大学院1年)

都城泉ヶ丘高等学校生物部



申込み及び問い合わせ先 : 都北の科学教育を考える会 会長 木野田 毅

電話 : 090-7473-2909 FAX : 0986-58-5141 E-Mail : takesh.kinoda@btvm.ne.jp

## ●開催意図と背景

理系に進む女子の絶対数が少ない国内の現状では、例え、理系に進みたいと願っても、学部・学科レベルでその本人と同じ進路意識を持つ生徒は、同じ学校内では少ないと考えられます。そのような中、主体的な女子の理系選択を促すためには、様々な進路意識をもつ女子生徒のネットワークを全国規模で広げることや、様々な研究分野で活躍する女性研究者のロールモデルを提供することが有効だと考えました。この「集まれ！理系女子 女子生徒による科学研究発表交流会」では、互いの研究内容を発表し合い、交流を深めることで、それぞれが興味を持っていることや、将来の進路意識についての情報交換を促すことを意図しています。毎年、理系女子のキャラクターを用いたチラシを本校でデザインし、全国に配布してこの交流会の存在と必要性を訴え、多くの女子生徒の参加を呼び掛けています。

## ●福山から出発し、京都、東京へ

初回となる2009年は、広島県福山市にある福山大学宮地茂記念館を会場に行いました。その際の参加高校は14校、研究発表は65件、参加者は272名でした。当時から、各種学会の企画等、中高生が自らの研究成果を発表できる場が用意されていましたが、全国規模の学会でさえも中高生の発表は30～40件程度が多く、女子のみでこれだけの規模の発表会が開催できたことに喜び、また、手応えを感じました。2013年までは福山で開催していましたが、2014年は京都、2015年以降は東京で開催し、この「女子生徒による科学研究発表交流会」をより全国規模の大会に発展させようと試みました。運営面での協力校を得ることが出来たことも追い風となり、参加者や発表件数などは右肩上がりに増加していきました。この10年間、延べ3000人を超える女子生徒や教育関係者の方々が交流会に参加して下さい、80人を超える女性研究者の方々が、女子中高生に対してご自身の研究をポスター発表等で紹介して下さいました。



第10回交流会(今大会)のチラシ



第1回交流会(福山・福山大学宮地茂記念館)

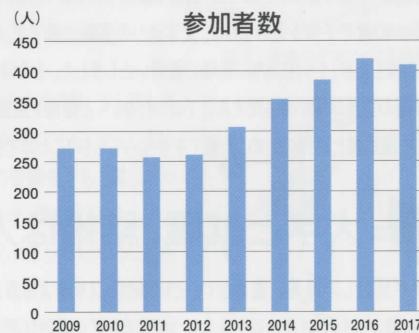


第6回交流会(京都・京都大学百周年時計台記念館)



第9回交流会(東京・学習院大学南3号館)

## 集まれ！理系女子データ(2009-2017)

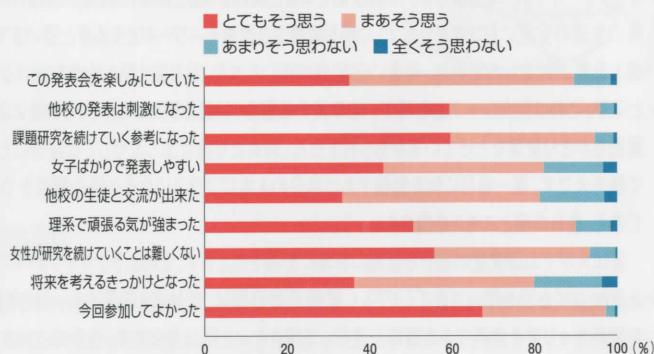


## ●リケジョのたまごを励ます交流会

参加した生徒のアンケートでは、各項目で少なくとも8割の生徒が肯定的な回答をしています。また、他校の研究発表に刺激を受け、自身の課題研究を続けるうえで参考にした生徒が特に多いことが分かりました。そして、女性研究者が毎回生徒に向けて励ましのメッセージを送って下さっていることも影響し、非常に多くの生徒が「女性が研究を続ける事は難しい」と回答しています。大学入学後並びに社会に出てからもこの意識を持ち続けられるように、社会の更なる変革が期待されるところです。

この交流会に参加した女子中高生の中には、その後大学へ進学し、現在は理系分野で活躍している方もいらっしゃると思います。この交流会を通して、理系進学を目指す女子生徒が一人でも多く増える事を心より祈念しています。

## 参加生徒のアンケート結果



※第1回～第9回において行ったアンケート結果(調査人数=1200名)を合計してグラフを作成している。